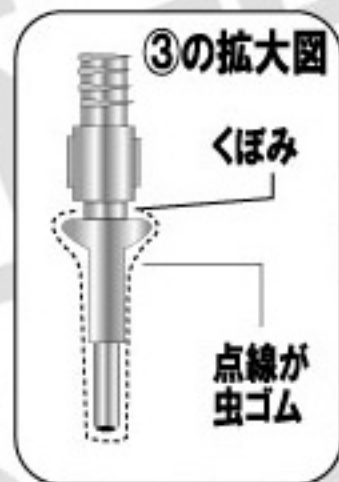


PUNCTURE REPAIR

虫ゴム・バルブ の交換方法



- タイヤに記載されている気圧以上、空気を入れしないでください。
- 自転車を日光のあたる場所に長時間放置しないでください。

パンクかなあ〜と
思ったらず
虫ゴムを点検
して見ましょう

虫ゴム交換

初心者編

- A 自転車の空気を入れる所に虫ゴムやバルブが着いています。場所は表面の写真を見てください。
- B 左の図がバルブの組立図です。①②を外すと空気が抜ける音がします。③を外すと③に虫ゴムが刺さっています。虫ゴムは黒または飴色が虫ゴムで劣化する消耗品です。劣化すると空気漏れの原因になります。半年程度で交換をお勧めします。古い虫ゴムを全部取って下さい。
- C 新しい虫ゴムを濡らして滑りを良くしてグルグルと③のプランジャーにくぼみまで押し込み装着します。
- D 交換後は新しい虫ゴムの付いた③を差込②を締めますが少し緩めてください。後は空気を入れるだけです。
- E 空気入れが重くなるまで入れます。空気を入れる金具を外したら、直ぐに②を締め空気を抜けないようにします①のキャップをつけて完了です。

バルブ交換

②や③に錆が出ていたり破損している場合はバルブセットで全体を交換してください。

空気が減っているのはパンクじゃなく虫ゴムの劣化が原因かもしれません

WINTEC

ウインテック 株式会社 TEL 072-653-1720
〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上 2丁目 2番 10号
wintec@winweb.co.jp/

廃棄の際は地方自治体の
廃棄区分に従ってください。



Ecology & Bicolony
地球に優しい
自転車生活

A-O1-VALVE